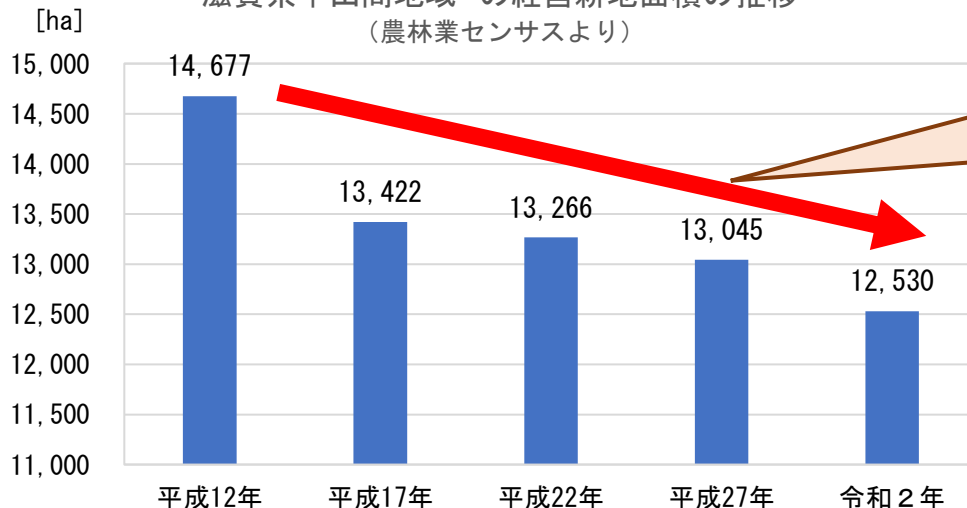


滋賀県内の棚田の現状および今後の取組について

1. 棚田を含む中山間地域の現状・課題等について

- ◆ 棚田を含む中山間地域については、農地の保全や多面的機能の発揮を図るため「中山間地域等直接支払」等により農地・農業水利施設等を保全する地域共同活動を支援してきた。また、農地集積や農業生産性向上を図るため棚田地域においても区画整理等のほ場整備に取り組んできた。
- ◆ しかし、近年の農家数の減少や高齢化の進行により地域共同活動が困難になる中、中山間地域の経営耕地面積の減少が進むなど多面的機能の低下や地域コミュニティの弱体化が懸念。
- ◆ 中山間地域を良好な姿で次世代に引き継ぐため、中山間地域等直接支払などによる地域共同活動継続への支援をはじめ、大学・企業等との連携・協働、集落と都市住民との交流の取組を通じた地域人材の確保により地域振興につなげるとともに、営農意欲の高い地域においては農地集積や畑作物への転換、スマート農業導入を促す基盤整備により農地の保全を図っていくことが重要。

滋賀県中山間地域※の経営耕地面積の推移
(農林業センサスより)



20年間で約14%減少 (2,147ha減)

[減少が顕著な地域]

大津市：-28% 長浜市：-23% 甲賀市：-17%

棚田地域におけるほ場整備実施地区

上仰木(大津市)、在原(高島市)、森西(高島市)、
東寺(湖南市)、山女原(甲賀市)、走井(栗東市)
など

2. 棚田地域振興の実施状況について

①たな友（しが棚田ボランティア制度）

◆事業概要

棚田地域の保全を図るため、棚田ボランティア参加者の募集・登録、棚田保全活動情報の発信、多様な主体とのネットワーク構築に向けた交流会開催等の運営を行っている。

◆実施状況

大津市上仰木、栗東市走井など県内12地区で実施。令和4年度ボランティア参加者数は342人（目標320人）と毎年増加。

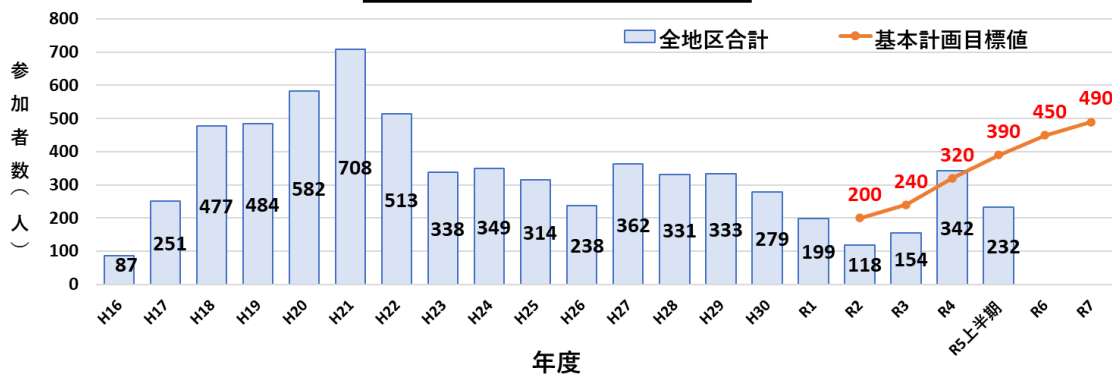
◆課題

新規地区の開拓をはじめリピーターや新規参加者の確保や地域の受け入れ体制の整備が必要。

棚田ボランティア実施地区



棚田ボランティア参加者数



棚田ボランティア参加者数目標値

（滋賀県農業・水産業基本計画より）

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標値	200人	240人	320人	390人	450人	490人
実績	118人	154人	342人			

2. 棚田地域振興の実施状況について

②しが棚田トラスト制度

◆事業概要

棚田地域の保全を図るため、地域とボランティアが一体となって取り組む棚田保全活動に賛同いただける企業や個人から寄附金を募り、資材や消耗品の購入費、活動運営に係る経費等保全活動の資金として活用。

運用当初は県への寄附だけであったが、平成24年度から各棚田地域に直接寄附を募る制度を追加。

◆実施状況

R5.3月末時点で計79件（個人67件、企業等団体12件）819,246円の寄附金が寄せられたが、近年は一部の地域への少額の寄附しかなく、特に企業から県への寄附はH23以降全くない状況

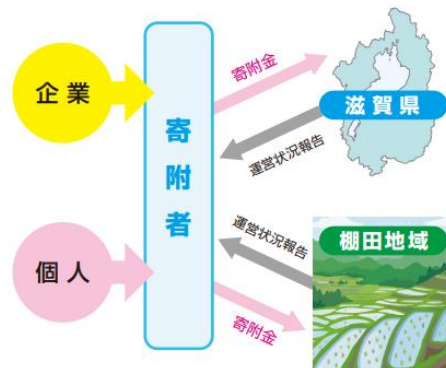
◆課題

県への寄附について運用当初は、県広報誌への掲載やシンポジウムでのPR等制度の周知を行ったことや新規性の高さも手伝い、企業や個人から多額の寄附をいただいていたが、近年は低調な状況が続くなど十分定着が図れていない。また、トラスト制度と「滋賀応援寄附（ふるさと納税）」があることから、どちらに寄附すれば良いか分かりにくい状況となっている。

年度	滋賀県への寄付額（円）			地域への寄付額（円）			
	寄附金額	個人(人)	企業等(者)	寄附金額	地域	個人(人)	企業等(者)
H21	317,000	20	5				
H22	143,576	16	2				
H23	86,670	14	0				
H24	21,000	2	0	3,000	畑地区	1	0
H25	10,000	1	0	3,000	曲谷地区	1	0
H26	10,000	2	0	5,000	山女原地区	1	0
H27	10,000	1	0	10,000	山女原地区	1	0
H28	30,000	1	0	10,000	山女原地区	1	0
H29	10,000	1	0	10,000	山女原地区	1	0
H30	0	0	0	40,000	山女原地区	0	2
R1	0	0	0	0	—	0	0
R2	30,000	2	0	20,000	山女原地区	0	1
R3	0	0	0	30,000	山女原 走井地区	1	1
R4	0	0	0	20,000	山女原地区	0	1
合計	668,246	60	7	151,000	0	7	5

総計 819,246円 79件（個人67件、企業等団体12件）

しが棚田トラスト制度イメージ

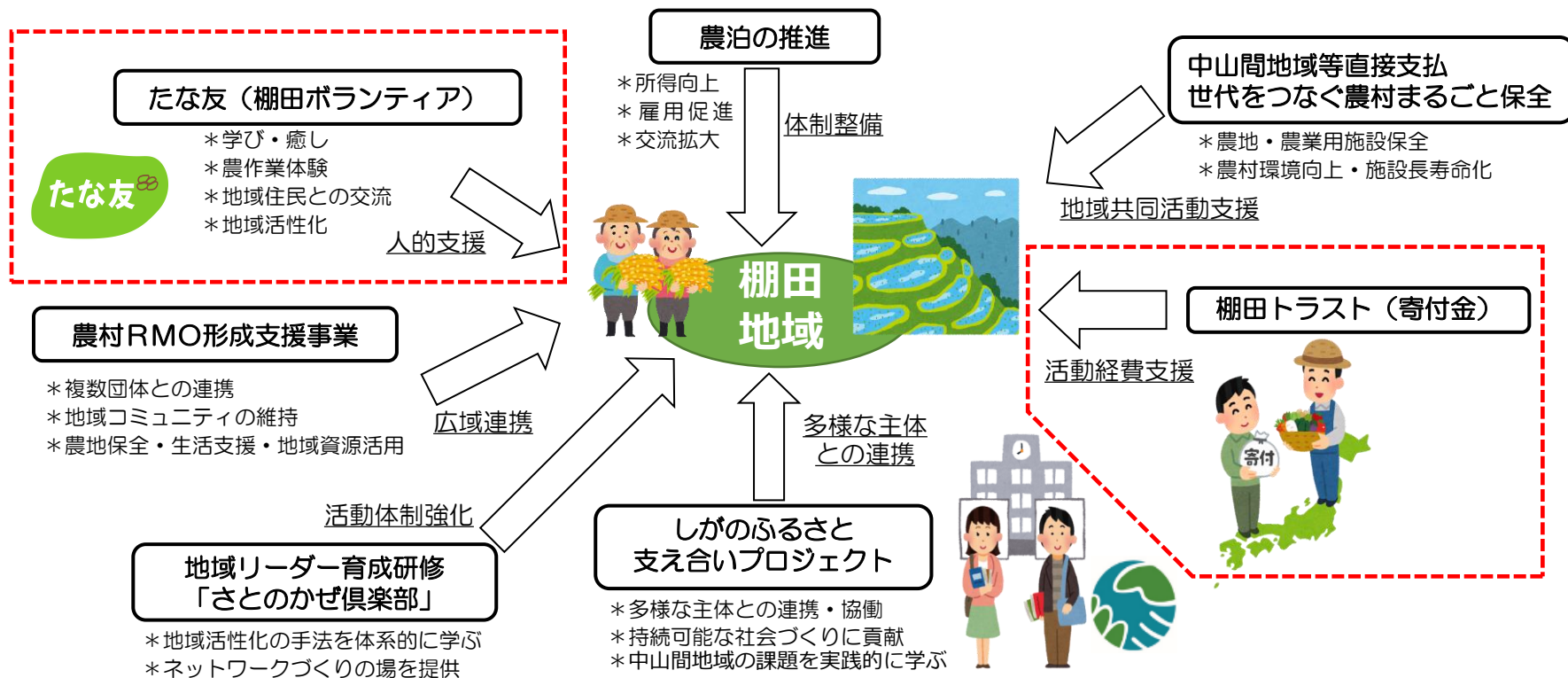


【参考】滋賀応援寄附（ふるさと納税）
「豊かな棚田を未来に残そう」寄附額

R 2 99,000円
R 3 1,011,176円
R 4 1,217,581円

3. 棚田地域振興の今後の取組について

- ◆ 学校・企業等多様な主体との連携やメルマガ・SNSを活用した棚田の魅力発信等の積極的な取組により、多くの棚田ファンを確保し棚田保全活動を持続性のあるものとする。
- ◆ 地域リーダー育成研修を行う「さとのかぜ倶楽部」や地域間の交流会等により地域の受入れ体制の強化と棚田地域ネットワーク構築を図る。
- ◆ 「しが棚田トラスト制度」の県への寄附については、「滋賀応援寄附（ふるさと納税）」へ集約し、地域への直接寄附制度を強化する。
 - ・ 返礼品については、地域の特色を活かした魅力あるものとなるよう地域と一緒に検討していく。
 - ・ 県内企業や県ゆかりの県外企業へ訪問し、制度の周知および棚田の魅力を活かした寄附への協力を呼び掛けていく。



多様な主体と連携した地域保全活動や基盤整備など地域のニーズに応じた総合的な取組による棚田地域の振興